

教科	外国語活動	単元名	How many?
----	-------	-----	-----------

本時のねらい

・好きな漢字を伝える活動を通して、英語で数字を伝えることができる。

本時における1人1台端末の活用方法とそのねらい

- ・Kahoot! を使って、英語の数字を復習する。
- ・英語の Dialog を個人で聞きながら何度も練習できるようにする。
- ・オクリンクを使うことで、みんなの好きな漢字を共有する。

活用したICT機器・デジタル教材・コンテンツ等

・ミライシード (オクリンク) ・Kahoot!

本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	ICT活用のポイント・工夫
導入 (10分)	○Kahoot! のクイズに答え、英語の数字を復習する。 【写真1】	・Kahoot! を使用することで、ゲーム形式で英語の数字を復習する。 ・ネイティブの発音を聞く問題に取り組むことでリスニング力をつけることができる。 ・授業で使用した Kahoot! の問題は学年の Teams で URL を公開しいつでも何度でも取り組めるようにしている。
展開 (30分)	○ワークシートに自分の好きな漢字とその理由を書く。 ○電子黒板を使い、全体で会話のモデルを確認する。 ○個人練習の時間をとり、キーセンテンス (今回は How many〜と数字) を言えるようにする。 ○クラスメートと好きな漢字について尋ねあう。 How many strokes? Five strokes. It's "水"? Yes. That's right! 【写真2】	・自分の選んだ漢字が何画かを確認するために、iPad を使っても良い。 ・オクリンクを使って、自分の選んだ漢字を送る。 ・オクリンクにも会話モデルを送り、を個人でも見られるようにする。 ・オクリンクのカードには、英語の Dialog を組み込ませてあるので、個人で何度も発音を聞くことができ、自分のペースで繰り返し練習することができる。 ・相手の好きな漢字を予想するために、iPad を使って漢字を調べても良い。
まとめ (5分)	・オクリンクに送った「みんなの好きな漢字」を共有する。 【写真3】	・全体で共有することで、友だちの好きな漢字を知ることができ、理由を紹介し合う中で仲間との相互理解が深まるきっかけになる。

1人1台端末を活用した活動の様子



【写真1】Kahoot! に取り組む様子



【写真2】Dialog を聞きながら発音の練習をする



【写真3】好きな漢字を全体で共有する

児童生徒の反応や変容

- ・Kahoot! を使って、前時までの復習をクイズ形式で行うと、児童はとても意欲的で主体的に学習に取り組むことができた。
- ・オクリンクを使って、会話のモデルを個人で聞けるようにしたので、多くの児童が何度もモデルを聞いていた。
- ・オクリンクで送ったことで、最後にみんなの好きな漢字を共有したので、児童は仲間の新たな一面を見つけていた。
- ・個々のペースで発音を聞き、それを真似することで、よりよい発音の英語で数字を伝えることができた。

授業者の声～参考にしてほしいポイント～

- ・Kahoot! は作るの少し手間ですが、児童が喜んで活動する。
- ・Kahoot! を用いることで、前時までの内容・前学年までの既習事項・前時の躰きを効率的かつ楽しみながらふりかえることができる。場面に応じて解説を加えたり、『チームモード』『学生主体のモード』を活用したりして遊びに終わらず、遊びの中から学習に繋げていく工夫をしていきたい。また、取組む問題は学年 Teams でリンクを事前に公開している。授業前の取組み、授業後の復習、テスト前にも再度取り組むことができるようにしている。
- ・オクリンクのカードには、英語の Dialog を組み込ませてあるので、個人で何度も発音を聞くことができ、自分のペースで繰り返し練習することができる。